

備えあれば憂いなし

三菱電機デジタルイノベーション株式会社
第二ビジネスユニット
統合運用フィールドサービス統括
カスタマサービス部 関西カスタマサービス課

松 田 宏 信

この会社に入り、C Eとして32年が経ちました。

入社当時は、汎用機を扱っていて、それにつながるパソコンを保守していました。

その後、サーバやネットワーク機器を中心とする保守へと変わってきました。

サーバやネットワーク機器はデータセンターへの設置が多く、そこでの作業を、最近が多く対応しています。

今回、そのデータセンター内で大きな作業ミスを行ってしまった時の話になります。

大きな作業ミスとは、最初にネットワーク機器に接続しているLANケーブルを抜く作業だったのですが、誤って違うLANケーブルを抜いてしまったことです。

作業は、2名作業で他の地域での応援作業でした。

1名は現地の作業員で資料を準備することになっていたのですが、前日に私は届いていた資料をPCにダウンロードのみ行いました。

作業当日、資料を受け取り、作業内容の確認を行ったのですが、これまでも同様の作業を行っていたこともあり、2日間の作業内容を当日分のみの確認しか行いませんでした。

もう1名の作業員も、前日に資料は準備したものの、その後、別件作業に出かけた為、資料を十分に把握していませんでした。

いざ、作業を開始し、LANケーブルを抜

くことになったのですが、LANケーブル抜線表の日付を見落としたことにより、翌日の対象機器のLANケーブルを抜いてしまったのです。

事前準備で、当日使用するLANケーブル抜線表の確認を怠ったまま、これまでの経験から容易にLANケーブル抜線表の一枚目を使用し作業を進めてしまいました。

作業は、その後、抜いたLANケーブルを元に戻し、以降の作業を進めることができました。

今回、他場所への応援とはいえ、資料の準備、確認を十分に行わなかったことによって起きた作業ミスの大きな要因でした。

改めて、事前準備の重要性を再認識することとなりました。

この作業以降は、ネットワーク機器の作業にかかわらず事前準備に、より時間をかけるようになりました。

資料に関しては、当日確認するのではなく、事前に確認することで、資料内容の記載ミスや不明点を見つけることができ、そのことを確認することで、認識の間違いに気づくこともあります。また、準備した資料や作業内容を他の人に確認してもらうことによっても、思い込みや準備不足を解消する手立てとして活用しています。

「LANケーブル1本を抜くだけの簡単な

作業だから」「これまでもやってきた作業と同じだから」と、容易に考え準備を怠った事によって起こった作業ミスでしたので、改めて、事前準備の重要性を強く感じました。

事前準備に時間をかけるようになってから

は、必然と作業に入りやすく、また、不安も取り除けています。

「備えあれば憂いなし」の言葉にあるように、備え（事前準備）を大切に行ってまいります。